

事業所名

太陽の家 キャロット

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

7 日

法人（事業所）理念	障害者には、同世代の健常市民と同様の「当たり前前の生活を営む権利」すなわちあらゆる面での「完全参加と平等」の権利がある。これを保証するためには、全ての面での条件整備が必要である。								
支援方針	第1に、「子どものそれぞれの発達段階や特徴に応じて、より細やかで丁寧な関わりを行う」 第2に、「子どもの生活基盤は家庭であることを踏まえ、どのような支援が必要か保護者と共に考えを進めていく」								
営業時間	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	「子どもにとってより良い生活環境を設定する」 ・通園する中で自発的な活動を引き出し、活動と休息等のメリハリのある生活をする事で、一日の生活リズムの確立につなげる。 ・子ども一人ひとりのペースを大切に、丁寧な関わりを持つ。 ・必要に応じた関わりを通し、子ども自身が実感出来るような関わりを心がけ、生活をするための力を身につける。							
	運動・感覚	「全身を使った活動を通して集中力を促し、感覚を統合して運動能力を高める」 ・視覚・聴覚だけでなく、感覚・固有感覚等を十分に使った活動を通して、それらの刺激を直接全身で感じ取り、情緒的反応を促し、自己や外界把握をより確かなものにしていく。 ・様々な姿勢をとらせたり、歩く等の基本的運動や協同性や操作性が含まれた活動等を行い、身体意識の向上や運動能力を高める。							
	認知・行動	「物事の理解を広げる」「外界や人に対し、積極的に向かおうとする姿勢を促す」 ・目標を分かりやすく、達成しやすい活動を多く行い、自分と外界の関わりに意味を見出し、物事の理解を広げていく。 ・自発性を大切に、興味や欲求を満たす遊びを十分に行い、充実感や期待感を促す。 ・好きな物だけにとどまらず、新しいことに挑戦しようとする気持ちを育てる。							
	言語 コミュニケーション	「豊かな感情表出、期待感、人との共有意識等をもとに、人とのコミュニケーション力を高める」 ・人とのやり取りを楽しむ遊びを行い、情緒的な満足感とおして、共有意識やコミュニケーションの意欲を育てる。							
	人間関係 社会性	「安定した親子関係を基盤に人と共有できる世界を広げる」 ・集団での活動を助け、集団行動がとれるように促し、友達同士の交流ができるようにする。 ・我を張ったり、泣いて訴える等十分自己主張した上で、相手の意思も受け入れられる瞬間を模索し支援していく。							
家族支援	・保育参加、保育見学、面談、保護者教室など様々な機会を通して、子どもへの理解を深めると共に、子育ての手がかりを掴めるよう支援する。				移行支援		・幼稚園、保育園などとの連携。		
地域支援・地域連携	・太陽の家全体のお祭り ・公園体操への参加 ・実習生受け入れ				職員の質の向上		・社内研修 ・外部研修		
主な行事等	・保護者参観日・太陽の家まつり・お芋掘り・運動会・秋祭り・お楽しみ会・もちつき								